

# 愛・地球博ユビキタス観光ガイド実証実験

## 1. 目的

観光客の満足度向上に重要な役割を担う観光情報提供のあり方を調査するため、ユビキタス・ネットワーク技術を利用することにより、愛・地球博会場を訪れた観光客、特に外国人観光客のニーズに合わせた情報提供に関する実証実験を実施し、実用化に向けた課題の抽出と実用可能性の検討を行った。

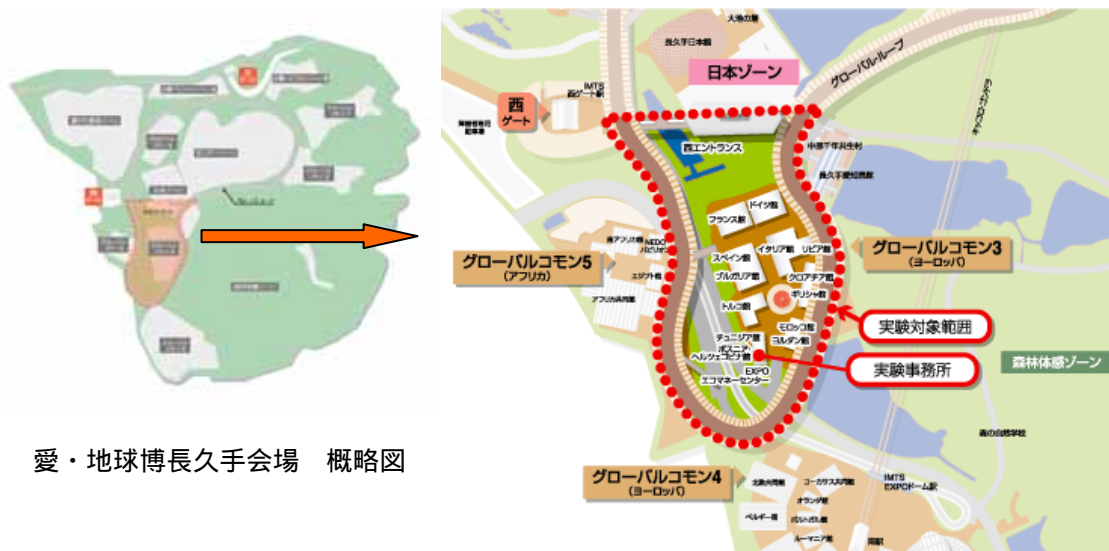
## 2. 概要

### (1) 実験期間

平成 17 年年 8 月 1 日 ~ 平成 17 年 9 月 13 日

### (2) 実験対象エリア

愛・地球博長久手会場のグローバルコモン 3 及びその周辺のグローバルループ上



愛・地球博長久手会場 概略図

図 1 実験対象エリア

### (3) 実験方法

携帯情報端末「ユビキタス・コミュニケーター」を用いて実験対象エリアに無線マーカ、IC タグを約 50 箇所設置し、その場所に応じた観光情報、最寄りのトイレや飲食店の案内情報、現在場所から目的地までのナビゲーション情報の提供を行った。

インターネットのホームページやリーフレットにより参加者を募集し、応募のあった一般の愛・地球博の来場者へグローバルコモン 3 内に設けた実験事務所で携帯情報端末を貸し出し、自由にグローバルコモン 3 などでユビキタス観光ガイドを体験してもらった上でアンケートにより使用感等について調査を行った。

なお、携帯端末は、日、英、仏、スペイン語、中、韓の 6 カ国語に対応し、文字・画像の表示及び合成音声による読み上げ機能を有している。



図 2 ユビキタス・コミュニケーター

40cm



図 3 無線マーカ

11cm



9cm

図 4 IC タグ

### 3．実験結果

日本人、外国人参加者ともに好評であり、愛・地球博会場のように広い範囲に多くの観光スポットが存在するようなエリアを観光客が自由に歩き回るような観光形態において有用であることが確認された。また、多言語に対応したことから、様々な外国人からも受け入れられるシステムであることが分かった。さらに、津和野、浅草での実験において課題とされていた使用可能な時間に対し、バッテリー等を改良し、2時間以上使用できるようにした携帯端末を使用したところ、使用可能時間に対しては特段不満もなく十分であると認められた。